

第11回(平成30年) 定時社員総会

平成30年5月15日に学士会館にて、理事・監事会及び第11回定時社員総会が出席57社、委任状提出46社、総計103社で開催されました。

第11回定時社員総会



《野崎正和代表理事 挨拶》

今年は働き方改革が本格的に推進されるものと思います。我々トンネル技能員は出稼ぎが多く、全国各地で働いています。一月の大半を目いっぱい働いて、少しでも多く家族のもとに仕送りしたいというのがトンネル技能員の文化だと思います。我々の父親、祖父の代からやってきた人もおりますけれども、家族を養うためにトンネル業界に入ったというのがほとんどだと思います。なにも産業のない田舎からやってきて、労働時間を顧みず進行を上げた結果が次の契約になっているような気がします。働き方改革をする際、出稼ぎで家計を支えている人達にとって、一月の給料を維持することが重要です。発注者の方にも国と民間があると思いますが、これ

もかなり温度差があり国交省と民間とのズレがあります。その辺も我々協会として行政に話をもって行きたいと思っております。

専門業者のトンネル掘削、覆工の施工業者は、会員で30数社だけですが、全国で90%ぐらいのシェアをこのトンネル専門協会の会員会社が施工していると思います。我々専門業者がしっかりと経営基盤を築いていなければ、日本のトンネル施工が出来ないという事を理解して頂けるよう訴えていきたいと思っております。

また、厚生労働省の方から委託を受け、建災防の方が我々業者からデータをもらい技能員の健康診断の管理をしていくというシステムを今年度から進めています。皆様にも改善するところは改善してもらい、是非、労務管理に実のあるシステムにしていきたいと思っております。

更に、粉じん測定は切羽から50mの位置で測定することになっていますが、切羽の最先端5mぐらいで測定してほしいということで、昨年5か所ぐらい測定を実施し、環境改善するためのデータの集計をしております。この辺も健康管理、又、職業病防止策としての良い環境作りをするため、我々と設備業者が協力し合ってやっていきたいと思っております。その他に、機械の改良、坑内粉じんの改善、坑内環境を良くするための機械化も機械業者と力を合わせて進めていけたら、良い方向に向いていくのではないかと考えております。

また、最近では急結材の劇物指定について日建連と相談しながら厚労省とやりとりしていますが、変えなければならぬ方向にあると思います。これからも難しいトンネルが発注されると思いますが、足腰のしっかりした企業にするために協力し合っていきましょう。

《承認された議案》

- 第1号議案 平成29年度事業報告
- 第2号議案 平成29年度収支決算報告並びに監査報告
- 第3号議案 役員選任及び顧問委嘱(案) ※1
- 第4号議案 平成30年度事業計画(案)
- 第5号議案 平成30年度収支予算(案)

※1 選任された役員

専務理事	トンネル専門協	村田 薫
常務理事	吉田直土木(株)	佐野博昭
常務理事	拓進建設(株)	岩崎健次
常務理事	(株)興和建設	脇田 洋
顧問	トンネル専門協	小方康孝



表彰 (敬称略)

1. 感謝状

永年にわたり当協会の円滑な運営に寄与された役員の方々に会長より感謝状と記念品が授与されました。

受賞者: 専務理事 小方康孝(トンネル専門協)
常務理事 樋口悟朗(拓進建設)
〃 吉田忠元(吉田直土木株)



2. 表彰状

当協会の推薦により国土交通大臣優秀施工者(建設マスター)、土地・建設産業局長青年優秀施工者(ジュニア建設マスター)及び厚生労働大臣安全優良職長顕彰を受けられた方に会長より表彰状と記念品が授与されました。

受賞者: 建設マスター 上杉博貴氏(横山工業株)
〃 岸本悦男氏(榊金子組)
ジュニア建設マスター 大森一博氏(木部建設株)
安全優良職長 林和生氏(榊児玉組)



総会懇親会来賓挨拶要旨

※お役職は平成30年5月15日現在です

国土交通省 大臣官房 技術審議官 五道 仁実 様



いま政府では働き方改革、生産性革命等々を進めているところです。我々も試行錯誤の中で、働き方改革を進めております。建設業がしっかり日本の国土や地域の守り手として又、日本経済の発展のため大変重要な産業として発展して行くためにも、働き方改革を進める必要がある訳ですが、現場の中で課題も多くあると思います。皆様方の素直なご意見を賜りながら、変えるところは変え、しっかりと進めてまいりたいと思いますので、ご協力お願いします。

厚生労働省 労働基準局 安全衛生部 化学物質対策課長 奥村 伸人 様



安全衛生部には三課ありまして、安全課の方では切羽に対しての安全対策などを推奨しております。今年の一月に切羽における肌落ち防止の安全対策ガイドラインを改訂し、切羽監視責任者を専任して切羽の安全を進めているところです。切羽の安全という昔の職人の方は五感でトンネルの危険を察知できると聞きました。しかし、じん肺の粉じんに関しては、人間の目には見えない低濃度の粉じんが発症致します。そのため労働衛生課の方では第9次労働災害防止計画にて、防じんマスクの徹底を重点として進めております。じん肺に関しては長期間たった後に発症するという事で、業務管理の一元管理という事を進めております。これについては関係業界の方にも参画して頂き、どのようなシステムを作れば良いのか一緒に検討して頂いており、あらためてお礼申し上げます。

一般財団法人 建設業振興基金 理事長 内田 俊一 様



各専門誌を見ていると各地で作業員の充足率が今年が一番低いようです。私も振興基金も担い手確保、育成事業で5年間、厚生労働省の建設労働者育成推進事業を3年やってきた訳ですが、入ってきた若者が3年以内で半分やめてしまうという点に注目しなければならないと思っています。というのは折角入ってきてくれたのにやめられたらもったいないのはもちろんですが、半分为3年でやめてしまう会社、産業は外から見たらブラック企業の何物でもないと思われ、後輩達が入って来ないと思うからです。入ってきた若者達をきちんと育てて責任をもって一人前にする、そのような気持ちをしっかり伝える事が若者達を育てる事になるし、若者達が留まる事で次の若者達が入って来るのだらうと思います。

また、国土交通省の音頭で振興基金がキャリアアップシステムを始めています。その一環で、トンネル専門協にも職業能力基準を作ってもらいました。是非キャリアアップシステムを活用して頂き自分達、トンネル工事業協会があるいは自分の会社が若者達をきちんと育てる会社だという話に活用をして頂けるよう期待しております。

労務安全担当者研修会

7月19日～20日に東京都で労務安全担当者研修会が開催されました。

1日目は「建設業に関する労働安全行政の動向、新聞情報等」「労働時間等に関する監督署の指導事項・改善報告」「各社の安全管理体制事例」について意見・情報交換会を行いました。



厚労省・建災防ご講演

2日目は厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課主任中央労働衛生専門官 丹羽啓達氏、建設労働災害防止協会総務部業務課長 中村英一氏による『ずい道等建設労働者健康管理システムの構築』の講演、及び建設労務安全研究会教育委員長 鳴重 裕氏による『建設現場でできる危険体感教育及び最近のトンネル工事の災害事例等』の講演が行われました。



鳴重氏ご講演

合同現場安全パトロール

工事概要

発注者：国土交通省 東北地方整備局
 元 請：大成建設(株)
 施 工：成豊建設(株)
 工 期：H28.4～H31.9
 延 長：839.9m

6月12～13日に岩手県宮古市の国道106号 磯鶏地区道路工事にて平成30年度第1回合同現場安全パトロールが行われました。坑内・場内の安全通路、照明設備、路盤等は大変綺麗に整備されており良好でした。重機災害防止のためにヘリマシステム重機接近警報装置等視覚に訴える管理がなされており非常に参考となりました。また、スマホでサイクルタイムが確認できる点、また切羽等の状況がテレビカメラで撮影されている点など、ITを活用して進んだ管理がなされていました。



相互確認

施工機械現場管理要員研修

7月28～29日に神奈川県にて平成30年度トンネル施工機械現場管理要員研修が行われました。内容は、トンネル施工機械の主要機械である、油圧ジャンボ、コンクリート吹付機、サイドダンプ式ホイールローダ、ブレーカ(ベアスマシン含む)、移動式クラッシャ+ベルトコンベアについて、管理の基本や怠ってはならない点検整備等について座学及び実機を前にした研修を行いました。



発注者：中日本高速道路(株)
 元 請：大林組・鴻池組 特定建設工事共同企業体
 施 工：吉田直土木 株式会社
 工 期：平成27年6月9日～平成31年10月15日
 場 所：神奈川県伊勢原市三ノ宮～上粕谷
 工事概要：トンネル延長上り線L=2,282m、下り線L=2,293m
 掘削断面積 標準 85.5㎡ 最小 75.6㎡ 最大 111.8㎡
 掘削方式 発破掘削
 ズリ出し 30tダンプトラック



小方顧問が受賞



当協会の小方顧問が「建設業労働災害防止協会」の推薦を受け、平成30年度「安全衛生に係る優良事業場、団体又は功労者にたいする厚生労働大臣表彰」のうち「功績賞」を受賞されました。「功績賞」とは安全衛生活動の指導の立場にあり、地域、団体、関係事業場の安全衛生水準の向上・発展に多大な貢献をした個人に与えられる賞です。おめでとうございます。

登録トンネル基幹技能者講習

7月12日～15日に富士教育訓練センターにて登録トンネル基幹技能者講習が開催されました。8月2日に行われた登録基幹技能者育成委員会(外部委員2名を含む)による審査の結果、32名の修了が承認されました。累計修了者は615名になりました。



氏名	所属組織名	修了証番号
川寄 顕治	㈱金子組	第061808-00584号
高山 睦	㈱金子組	第061808-00585号
秋田 達雄	河北建設㈱	第061808-00586号
石岡 春雄	河北建設㈱	第061808-00587号
加藤 一	㈱木下工務所	第061808-00588号
松原 優輝	木部建設㈱	第061808-00589号
荒関 誠二	笹島建設㈱	第061808-00590号
岩水 智幸	笹島建設㈱	第061808-00591号
岡野谷 隆仁	笹島建設㈱	第061808-00592号
粕谷 俊宏	笹島建設㈱	第061808-00593号
小坂 康彦	笹島建設㈱	第061808-00594号
大丸 満雄	笹島建設㈱	第061808-00595号
土谷 昭仁	笹島建設㈱	第061808-00596号
石川 善久	㈱すばる建設	第061808-00597号
上澤 栄行	㈱すばる建設	第061808-00598号
中村 隆	㈱すばる建設	第061808-00599号

氏名	所属組織名	修了証番号
藤元 一弘	㈱すばる建設	第061808-00600号
小中 一彦	成豊建設㈱	第061808-00601号
高田 博文	成豊建設㈱	第061808-00602号
田貫 祐一	成豊建設㈱	第061808-00603号
堂端 誠	成豊建設㈱	第061808-00604号
見附 孝大	成豊建設㈱	第061808-00605号
皆口 育夫	成豊建設㈱	第061808-00606号
桃井 善史	成豊建設㈱	第061808-00607号
小林 秀司	㈱原工業	第061808-00608号
鳥羽 信次	㈱原工業	第061808-00609号
渡辺 毅	㈱原工業	第061808-00610号
宮崎 良平	北新建設㈱	第061808-00611号
角谷 直紀	山崎建設㈱	第061808-00612号
豊田 修	山崎建設㈱	第061808-00613号
水島 達二	山崎建設㈱	第061808-00614号
阿萬 隆二	横山工業㈱	第061808-00615号

また、6月9日に開催された東京会場での更新講習で39名の方が修了証を更新されました。

協会からのお知らせ

【新規会員】

8/1入会 ㈱ミズケイ 岡山県 安全商品製作販売、警備業
 9/1入会 ㈱コーコス信岡 広島県 作業服、作業用品の製造販売 よろしくお願ひ致します。

【今後の予定】

2018/10/12(金)～10/13(土) 現場見学会
 2018/11/08(木)～11/11(日) 平成30年度第2回登録トンネル基幹技能者講習 守山会場

この会報に対するご意見・ご感想、又ご入会に関する詳しいお問合せは下記の事務局までお願いします。



一般社団法人 Association of Nihon Tunnel Construction Sub-contractors
日本トンネル専門工事業協会

〒105-0003 東京都港区西新橋1-9-1 ブロードリー西新橋9階
 TEL:03-5251-4150 FAX:03-3591-3550 URL : <http://www.tunnel.jp>